

2019年度 環境経営レポート

運用期間 2019年4月～2020年3月



エコアクション21
認証番号:0006365



田中建材株式会社

発行:2020年7月25日

目次

1. 環境基本方針
2. 事業活動の概要
3. 取組実施体制図及び責任
4. 環境経営計画と目標
5. 環境経営計画の内容及び結果の評価と次年度の取組
6. 代表者による全体評価と見直し・指示
7. 環境関連法規の遵守状況
8. 環境行動

田中建材株式会社

環境経営方針

我々は、良い地球環境に向けての改善が最重要課題であることを認識し、次の世代に美しい高島市の自然と琵琶湖を守りそだて、全社員が地球環境の未来をみすえた言葉と行動がとれる会社として成長する。

そして、建設と環境事業を通じ、環境影響を改善する行動と配慮できる心を育てることを誓います。

- ① 当社の活動が環境に与える影響を的確に捉え、環境製品の販促・新技術開発により循環型社会に貢献します。
- ② 地域での環境活動に積極的に参加します。
- ③ 化学物質の削減と環境負荷の少ない商品の研究をします。
- ④ 省資源・省エネルギー活動の推進による二酸化炭素の削減を計ります。
- ⑤ 廃棄物の3R活動により、環境負荷の低減を計ります。
- ⑥ 用水の削減に努め、水資源の保護を計ります。
- ⑦ 工事に伴う建築資材のグリーン購入と事務用品等のグリーン購入を推進します。
- ⑧ 環境経営マネジメントシステムの定期的見直しを行い、環境パフォーマンスの継続的改善を実施します。
- ⑨ 事業活動に関わる環境関連の法規、条例、及びその他の要求事項を遵守します。

制定：2000年8月1日
改訂：2020年4月1日



田中建材株式会社

代表取締役

田中 稔

2. 事業概要

(1) 名称及び代表者名

事業者名：田中建材株式会社
代表者名：代表取締役 田中 稔

(2) 所在地

本社・倉庫 〒520-1621 滋賀県高島市今津町今津1677番地14
リサイクル工場 〒520-1603 滋賀県高島市今津町今津町北仰585-1

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

代表者 代表取締役 田中 稔
環境管理責任者 専務取締役 小島 守
環境担当者 総務部 堤 千賀子
転落先 連絡先：0740-22-0217
E-mail: tsutsumi@tanakakenzai.co.jp

(4) エコアクション認証

認証番号 0006365
認証・登録日 2010年12月22日
対象事業所 本社・倉庫、廃棄物リサイクル工場
対象事業活動 建設業、産業廃棄物収集運搬業、廃材木、コンクリートガラの再生処理並びに販売業

(5) 事業の規模

- 法人設立
1968年2月23日 (創業より52年)
- 事業の規模

	単位	2019年度	2018年度	2017年度
資本金	千円	33,000	33,000	33,000
人員	人	14	15	15
売上	千円	603,000	356,341	328,775

※売上：7月1日～6月30日

- 事業の概要

	単位	2019年度	2018年度	2017年度
本社延床面積	m ²	500.00	500.00	500.00
倉庫床面積	m ²	200.00	200.00	200.00
本社・倉庫敷地面積	m ²	3,000.00	3,000.00	3,000.00
リサイクル工場敷地面積	m ²	6,000.00	6,000.00	6,000.00

(6) 許可の内容

- 建設業

特定建設業許可証明書	
許可番号	滋賀県(特-23)第80088号
種類	土木工事業、建築工事業、解体工事業
許可年月日	2011年6月10日～2021年6月9日

一般建設業許可証明書	
許可番号	滋賀県(般-23)第80088号
種類	とび・土工工事業、舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、管工事業
許可年月日	2011年6月10日～2021年6月9日

高島市下水道排水設備指定工事店	
許可番号	第301号
種類	下水道排水設備
許可年月日	2005年1月1日

- 廃棄物関連

滋賀県産業廃棄物収集運搬業	
許可番号	第2500042357号
種類	木くず/工作物のコンクリート破片およびこれに類する不要物
許可年月日	2011年6月10日～2021年6月9日

滋賀県産業廃棄物処理施設使用届出書	
許可番号	今生第230号
種類	廃木材、コンクリートがら、アスコンがら
許可年月日	平成13年10月17日

※積み替え保管施設はない。

3. 保有車輛、建機、機器等

1. 保有車輛

自動車登録番号	車体の形状	最大積載量	車体サイズ(m)	低排出ガス車の導入状況
滋賀100せ 879	ダンプ	3450kg	長さ5.47m 幅2.3m	平成27年度燃費基準10%向上車
滋賀100は 300	脱着装置付コンテナ車	7800kg	長さ6.41m 幅2.29m	平成27年度燃費基準10%向上車
滋賀100は 283	脱着装置付コンテナ車	7400kg	長さ6.08m 幅2.20m	
滋賀100さ 654	ダンプ	3750kg	長さ5.80m 幅2.23m	
滋賀100さ 183	脱着装置付コンテナ車	3850kg	長さ6.81m 幅2.20m	
滋賀100さ 931	脱着装置付コンテナ車	4050kg	長さ5.97m 幅2.20m	
滋賀400ち 442	ダンプ	2000kg	長さ4.69m 幅1.69m	平成27年度燃費基準達成車
滋賀400ち 319	脱着装置付コンテナ車	3000kg	長さ4.35m 幅1.69m	平成27年度燃費基準達成車
滋賀100は 155	キャブオーバ	10900kg	長さ10.42m 幅2.50m	
滋賀102ひ 888	キャブオーバ	2350kg	長さ8.19m 幅2.27m	

2. 保有建機

種類	形式	重量	排ガス対応等
バックホウ	PC20MR-3	2155kg	
バックホウ	P C 40MR-3	4150kg	
バックホウ	P C 60-7	0.25m ³	
バックホウ	P C 78U S-8	7290kg	
バックホウ	P C 100-6	0.4m ³	
バックホウ	P C 128U S-8	0.45m ³	
バックホウ	P C 130	0.45m ³	
バックホウ	P C 138	0.45m ³	
バックホウ	P C 120-8	12100kg	
バックホウ	P C 138U S-11	0.45m ³	
バックホウ	P C 200-11	0.7m ³	
コンバインロー	TW41	4000kg	
タイヤシャベル	WA20-2E	0.28m ³	

3. 保有コンテナ

種類	形式	台数	備考
12m ³ コンテナ	2.04m×3.56m×1.98m	1台	
8m ³ コンテナ	2.04m×3.56m×1.42m	2台	
6m ³ コンテナ	1.70m×2.73m×1.71m	1台	
4m ³ コンテナ	1.70m×2.73m×1.10m	1台	

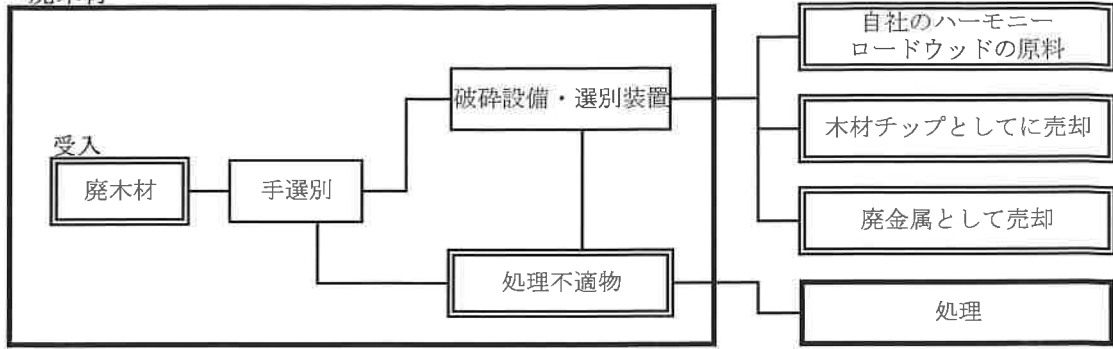
4. 産業廃棄物処理

4-1. 産業廃棄物の中間処理施設

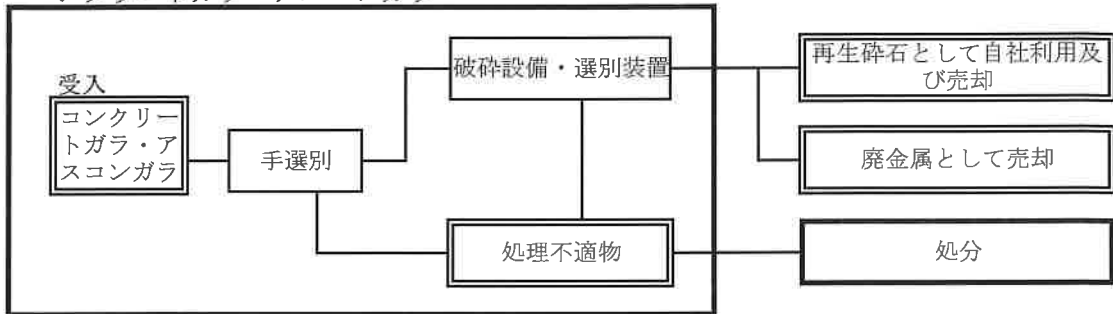
施設の種類	破砕設備
品目	木くず及びびかれき類
設置年月日	平成13年10月17日
設置場所	滋賀県高島市今津町北仰585-1
処理能力	384t/日 48t/時間
稼動時間	8時間/日 (8:00~17:00)
処理方式	破砕機 (ジョウクラッシャーによる破砕)
構造・設備の概要	がれき: 自走式破砕機 (コマツ ガラパゴス BR300J)、ふるい機 木くず: 自走式破砕機 (コマツ ガラパゴス BR200S) ハンマークラッシャー、磁選機、ふるい機
保有車両	ダンプトラック 3台 コンテナ 4台 ユニック 1台

4-2. 産業廃棄物の中間処理工程図

・廃木材



・コンクリートガラ・アスコンガラ



4. 建設業・廃棄物処理実績

1. 建設業実績

1-1. 過去3年間の建設事業実績

年度		土木一式	建築工事	とび・土工	管工事	解体工事	舗装工事	その他工事	合計
2017年度	元請公共	金額(千円) 57,932	0	7,324	120	13,604	7,451	0	86,431
		件数 1			1				2
	元請民間	金額(千円)	0	7,009	859	37,085	2,331	2,130	49,414
		件数			4				4
2018年度	下請	金額(千円) 21,758	0	67,289	5,350	49,552	19,410	231	163,590
		件数 1			3			1	5
	合計	金額(千円) 79,690	0	81,622	6,329	100,241	29,192	2,361	299,435
		件数 2		0	8	0	0	1	11
2019年度	元請公共	金額(千円) 62,907	0	9,773	67		48,630		121,377
		件数							0
	元請民間	金額(千円)	0	3,525	510	61,354	5,084		70,473
		件数							0
2019年度	下請	金額(千円)	0	73,042	80	26,910	53,642		153,674
		件数							0
	合計	金額(千円) 62,907	0	86,340	657	88,264	107,356	0	345,524
		件数							
2019年度	元請公共	金額(千円) 142,780	0	410	355	610	42	0	144,197
		件数							0
	元請民間	金額(千円)	0	15,000	13,143	410	54,099	2,450	85,102
		件数							0
2019年度	下請	金額(千円) 32,923	0	37,839	0	35,253	252,270	0	358,285
		件数							0
	合計	金額(千円) 175,703	15,000	51,392	765	89,962	254,762	0	587,584
		件数 0	0	0	0	0	0	0	0

※決算は、事業年度：7月1日から6月30日

1-2. 2019年度の建設工事実績

〈元請工事・業務等〉(主な完成工事)

工事名	工期	工種	発注元・金額
令和元年度 河川・砂防維持修理工	平成31年4月～ 令和2年年3月	土木一式	滋賀県 ¥75,061千円
平成30年度 第1-4号 石川川障害 防止対策工事	平成31年2月～ 令和元年12月	土木一式	滋賀県 ¥49,659円

2. 産業廃棄物処理業実績

2-1. 過去3年間の産業廃棄物収集運搬実績

	単位	2019年度	2018年度	2017年度
木くず	t	454.00	77.00	183.00
がれき	t	1,051.00	1,395.00	1,248.00
合計	t	1,505.00	1472.00	1431.00

※自社排出の産業廃棄物収集運搬のみ

2-2. 過去3年間の産業廃棄物中間処理実績

①廃木材

単位：t

処理方法等	廃棄物等種類	2019年度	2018年度	2017年度
木材チップ製造 (中間処理)	廃木材	454	508	432
	合計	454	508	432
処分量・製品販売 量	ハーモニーウッド 原料	434	110	107
	木材チップ(原料)	0	65	183
	合計	434	175	290

※自社排出産業廃棄物の自社処理のみ

②がれき類

単位：t

処理方法等	廃棄物等種類	2019年度	2018年度	2017年度
再生砕石製造 (中間処理)	廃コンクリート	1,472	1,172	259
	廃アスコン	48	81	116
	合計	1,520	1,253	375
処分量・製品 販売量	RC自家使用量	1,052	347	1,167
	RC販売量	33	906	1,008
	合計	1,085	1,253	2,175

③産廃等の排出(二次マニフェスト)等

単位：t

処理方法等	廃棄物等種類	2019年度	2018年度	2017年度
産廃及び廃金 属	混合廃棄物	116	698	106
	廃金属	22	28	19
	合計	138	726	125

5. 事業売上と二酸化炭素排出量(電力・化石燃料等)、水道水、化学物質排出

活動規模	単位	2019年度	2018年度	2017年度
事業売上	百万円	603	356	328
従業員数	人数	13	14	14
二酸化炭素排出量	Kg-CO2	222,927	249,770	396,679
電力使用量	kwh	48,850	45,248	28,407
灯油使用量	L	19,784	20,320	70,173
プロパンガス使用量	kg	198	55	57
ガソリン使用量	L	10,525	12,587	11,991
軽油使用量	L	52,351	66,805	69,963
水道水使用量	m3	418	392	473

※年度：4月～3月

※売上：7月～6月

※化学物質の使用はありません

6. 資材及び再生資材使用量

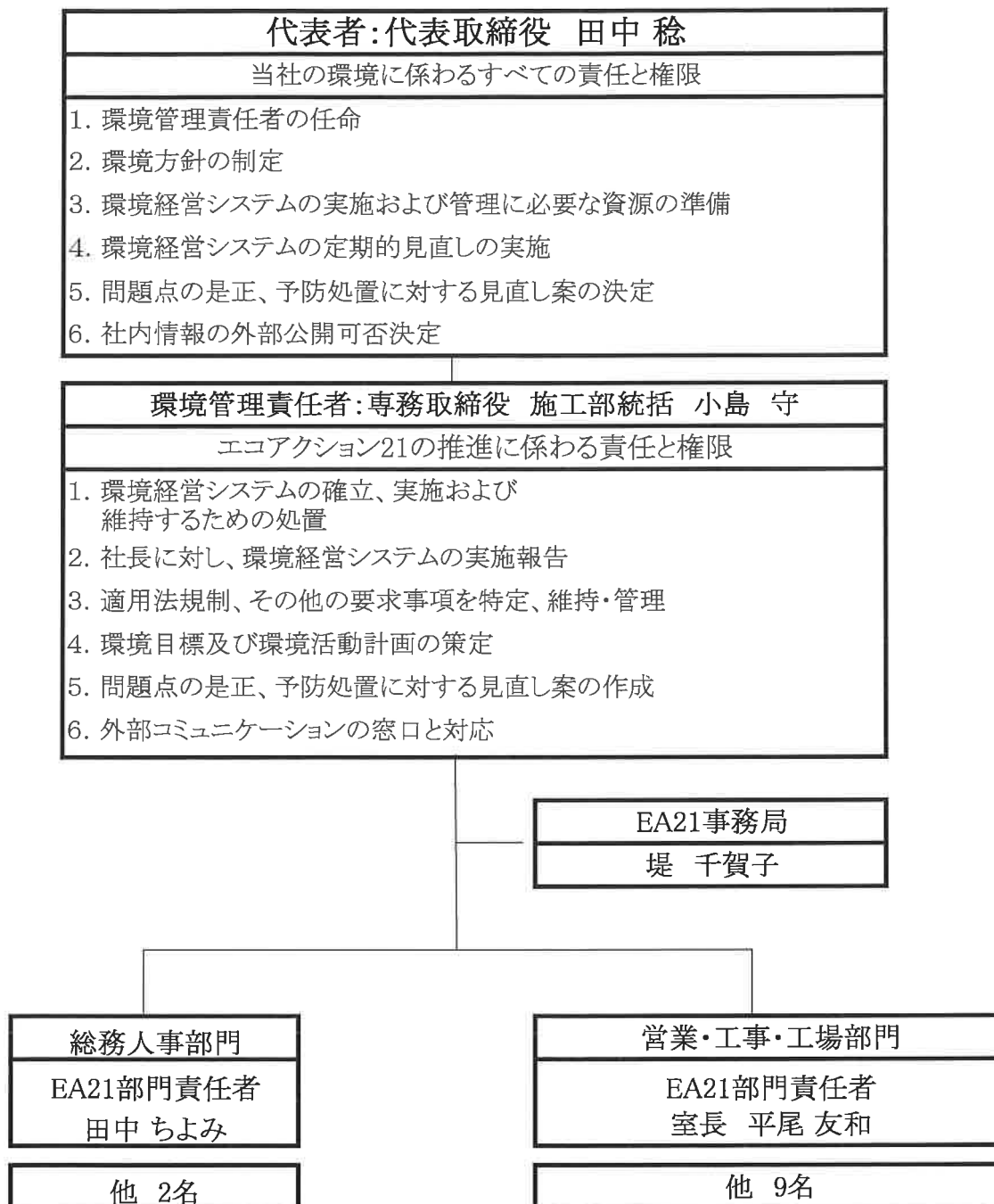
活動規模		単位	2019年度	2018年度	2017年度
建設資材	生コン	t	303.50	571.10	1,436.40
	碎石	t	2,091.90	1,063.20	0.00
	山土	t	2,190.80	34.60	409.00
	乳剤	t	0.00	0.00	0.00
	鉄骨・鉄筋	t	2.67	3.20	1.60
	砂	t	0.00	0.00	5.20
	セメント	t	217.02	1.40	0.60
再生建設資材	再生アスコン	t	467.00	0.00	240.50
	再生碎石	t	1,996.94	594.30	1,154.70
	再生砂	t	0.00	0.00	0.00
	再生木材チップ	t	434.31	110.00	0.00

7. 表彰賞等記録

- ・ 第6回グリーン購入大賞受賞 2003年
- ・ 滋賀銀行：しがぎん野の花賞受賞（2003年：水質技術 2004年：建築技術）
- ・ 滋賀県 事業可能性評価Aランク認定 2003年
- ・ 環境省：廃棄物対策研究会（2003～2005年 発表）次世代廃棄物処理技術基盤整備事業に認定
- ・ （財）新技術開発財団助成金事業 2004年
- ・ 建設技術展2004近畿「活用技術省」2005近畿「注目技術賞」受賞
- ・ エコマーク認定商品（第04115023番）2005年
- ・ 特許登録（登録番号 第3814695号）木質舗装 2005年
- ・ NETIS登録（登録番号 KK-030007）2006年
- ・ 滋賀CSR経営大賞受賞 2007年
- ・ 第23回（2007年度）都市公園コンクール 都市・地域整備局長賞受賞 2007年
- ・ 2007年度NBK大賞 環境ビジネス賞受賞 2007年
- ・ 環境力大賞受賞 2010年
- ・ 第8回エコプロダクツ大賞 審査委員長特別賞 2011年
- ・ エコマークアワード2012 銅賞受賞 2012年
- ・ 近畿建設リサイクル表彰 会長賞受賞 2012年
- ・ 「eco japan cup2013」【グリーンニューディール準優秀提言】受賞 2013年
- ・ 平成26年度滋賀県低炭素社会づくり賞（低炭素化事業部門）受賞 2015年
- ・ 低炭素杯2016 ファイナリスト賞受賞 2016年
- ・ ウッドデザイン賞2016（ソーシャルデザイン部門）受賞 2016年
- ・ ウッドデザイン賞2017（ソーシャルデザイン部門）受賞 2017年
- ・ 平成29年地球温暖化防止活動 環境大臣賞受賞 2018年
- ・ しが発低炭素ブランド認定 2018年
- ・ 脱炭素チャレンジカップ2020 ファイナリスト賞 2020年

エコアクション21取組実施体制図

合計：14名



- | |
|---|
| ①. 環境方針を理解し、方針に従っての行動
②. 環境目標の実現に向けての取組
③. 自分に作業と環境負荷との係わりの理解
④. 定められた手順による作業の取得と実施
⑤. 環境負荷の低減及び有益な行動に関する改善提案 |
|---|

4. 環境経営計画と経営目標

2019年度環境経営目標設定書

(1) 環境経営目標の選定

当社の環境目標として、環境への負荷の現状と取組み状況のチェック結果を検討し、自社に最も関係の深いと思われる二酸化炭素の排出抑制及び建設業・廃棄物中間処理に伴う環境負荷の低減に重点を置き、目標を定め取組むこととした。

(2) 環境経営目標の選定理由等

- ① エネルギー投入量は、種類ごとに目標数値を選定しました。
- ② 消費電力、化石燃料、及び、水資源投入量を請求書で量を管理する。
- ③ 廃棄物削減では、分別の徹底・リサイクル率の向上を重点に実施する。
- ④ 水使用量の削減をし、環境への負荷を低減する。
- ⑤ 太陽光発電所を建設し、環境負荷の少ない電力を発電及び売電をする。
- ⑥ 事務用品・作業服等購入時には、環境にやさしい物の購入をする。
- ⑦ 地域の環境へのボランティア活動への積極的に参加をする。
- ⑧ 従業員1人1人環境への認識を高める為、朝礼にて教育をする。

(3) 環境経営活動計画

方針	取組項目	活動計画の内容	担当部署
二酸化炭素の削減	使用電力の削減	・休憩時間、残業時不要ヶ所の消灯 ・慣らし運転時間の適性 ・機械運転の適切な運用	本社・倉庫 リサイクル工場 建設現場
	化石燃料使用量の削減	(ガス、灯油) ・室内温度管理 ・給湯器の適正温度設定と使用の削減 (ガソリン、軽油) ・エコドライブの推進 ・燃費の良い車(HV車)の優先使用	本社・倉庫 リサイクル工場 建設現場
廃棄物の3R活動により、環境負荷の低減を計る	廃棄物排出量削減	・客先廃棄物の分別のお願いをする。 ・産廃のリサイクル物質の細かな分別	本社・倉庫 リサイクル工場 建設現場
用水の削減	使用水量の削減	・水を流しながらの洗い物はしない。 ・トイレ水量の調整 ・洗車用水の削減	本社・倉庫 リサイクル工場
化学物質の適正管理	化学物質を使用する場合は、適正管理をする。	・適正数量の把握と安全保管 ・工事材料の再資源化製品の積極的な採用	本社・倉庫
グリーン購入の推進	グリーン購入品の推進及びリサイクル資材の採用	・事務用品のグリーン物品への移行 ・工事材料の再資源化製品の積極的な採用	本社・倉庫 リサイクル工場
地域の環境活動への参加	地域環境保全への参加	・地域の環境活動に参加する。	本社・倉庫

5. 環境経営計画の内容及び結果の評価と次年度の取組

[2019年度目標の達成状況]									
項目		2017年度 (実績値)	2018年度 基準値	2019年度 目標値	2019年度 (実績値)	結果	実施結果と次年度の課題		
売上全社 (千円)	百万円	328,775	356,341	—	603,000	増	基準年度(2018年度)に対し2019年度は169%の売上が急増した。建設工事で、東京オリンピック会場の木質加熱アスファルト(ハーモニーロードウッド)建設工事も貢献している。		
	%	92%	100%	—	169%				
従業員数 (人)	人	15	15	—	14	減	2019年度は人員は減少したが、新卒等の採用が進み、2021年度には回復の予定。		
	%	100%	100%	—	93%				
二酸化炭素排出量 (水を除く)	全社	C02	396,679	249,770	249,770	232,927	○	全社の二酸化炭素排出量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は7%の削減を達成した。事業所別では、本社・倉庫:14%、チサイクル工場:36%、建設現場:51%である。本社・倉庫の二酸化炭素の排出量は安定しているが、リサイクル工場及び建設工事では仕事量が年により変化が大きい。売り上げの増大と比較して努力の成果により抑えることが出来た。	
		(kg-CO2)	159%	100%	100%	93%			
		費用 (円)	14,160,604	10,938,597	10,938,597	9,539,327			○
		単価@	36	44	44	41			
	本社	C02	35,805	36,946	36,946	32,288	○	本社・倉庫の二酸化炭素排出量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は13%の削減を達成した。二酸化炭素排出量の構成は、電力:23%、灯油:1%、プロパンガス:0%、ガソリン:76%、軽油:0%の割合である。主は営業車等のガソリン燃料が主であるが、営業及び工事現場への移動で安定した削減は難しいが、今後は継続してエコドライブ等を推進する。現場や営業車にPHVの導入を進めた。	
		(kg-CO2)	97%	100%	100%	87%			
		費用 (円)	2,081,606	2,291,137	2,291,137	1,976,795			○
		単価@	58	62	62	61			
	リサイクル工場	C02	196,789	79,698	79,698	82,806	○	リサイクル工場の二酸化炭素排出量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は4%の増加で目標を達成できなかった。二酸化炭素排出量の構成は、電力:20%、灯油:59%、プロパンガス:0%、ガソリン:76%、軽油:21%の割合である。主は木質加熱アスファルト舗装用資材の製造の加熱炉の燃料で、受注が増加すると多量な加熱用燃料として灯油の増減が激しい。	
		(kg-CO2)	247%	100%	100%	104%			
		費用 (円)	6,493,287	3,277,908	3,277,908	3,220,020			○
		単価@	33	41	41	39			
	建設工事	C02	164,085	133,125	133,125	117,833	○	建設工事の二酸化炭素排出量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は11%削減し、目標を達成した。二酸化炭素排出量の構成は、電力:0%、灯油:0%、プロパンガス:0%、ガソリン:0%、軽油:100%の割合である。主は建機、及びダンプ等運搬車輛等の燃料である。燃費の悪い建設機械を更新していきたいと考えている。	
		(kg-CO2)	123%	100%	100%	89%			
		費用 (円)	5,585,711	5,369,552	5,369,552	4,342,512			○
		単価@	34	40	40	37			
電力	全社	電力	28,407	45,248	45,248	48,850	×	全社の電力使用量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は8%増加し、目標を達成できなかった。電力の全社の二酸化炭素の排出割合は、10%の構成割合である。本社・倉庫(従電)、リサイクル工場(低圧)の割合は、本社・倉庫:31%、リサイクル工場:69%の割合である。	
		kwh	63%	100%	100%	108%			
		費用 (円)	880,939	1,171,683	1,171,683	1,217,626			×
		@	31	26	26	25			
	本社	電力	15,113	14,634	14,634	15,302	×	本社・倉庫の電力使用量は、基準年度(2018年度)に対し2019年度は10%増加し、目標を達成できなかった。主はプラントの電力でプラント稼働時間による。プラントの稼働は、廃棄物量の増減及び事務所及び倉庫の照明、事務機器及びエアコンの電力である。本年は仕事量が増加したと思われる。更に継続して節電に努力する。次年度以降は本社太陽光発電により電力量の削減が図れると考えてる。	
		kwh	103%	100%	100%	105%			
		費用 (円)	422,094	424,986	424,986	443,603			×
		@	28	29	29	29			

7. 環境関連法規の遵守状況

7-1. 当社に適用される法規制等と現在までの遵守状況

主な適用法規等	該当する活動	遵守状況
環境の基本法	事業活動全般	○
滋賀県環境基本条例		
高島市環境基本条例		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産業廃棄物の収集運搬の許可（滋賀県他）	○
滋賀県廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行細則	産業廃棄物の中間処理施設の許可（滋賀県）	○
	廃棄物の排出適正処理	○
	マニフェスト管理実施中	
産業廃棄物管理票交付状況報告書提出		
産業廃棄物処理実績報告書提出	○	
騒音規制法, 振動規制法	振動・騒音設備の届出	○
高島市環境基本条例	破碎施設	
家電リサイクル法	クーラー、テレビ等の廃棄時対応 本年度の廃棄なし。	本年度なし
小型家電リサイクル法	高島市の指定収集場所に排出	○
自動車リサイクル法	自動車の適切な廃棄 解体業許可業者への引取	本年度なし
建設業リサイクル法	建設リサイクル法届出書（物件毎）	○
	建設副産物情報交換システム（COBRIS）の提出	○
高島市下水道条例	下水道への排水 連結済	○
高島市火災予防条例	消化設備の年次点検・報告	○
フロン排出抑制法	エアコンの簡易点検の実施	○
建設業法	建設業の届出（解体業の追加）	○
道路交通法	安全運転管理者の選任 小島 守	○

7-2. 違反、訴訟等

関連関係法規への違反、訴訟はありません。

又関係当局からの違反等の指摘は、過去3年間はありません。

内 容	2017年度	2018年度	2019年度
法律違反の有無	無	無	無
訴訟の有無	無	無	無
環境に関する苦情の有無	無	無	無

年度は、4月～3月

8. 環境行動

8-1 社内外研修等の環境活動

(1) 地域活動淡海エコフオスター)

淡海エコフオスター制度は、エコ（環境）とフオスター（育成する）を結びつけ、環境 こだわり 県滋賀を表す「淡海」を冠したもので、各種団体や企業が継続的なボランティア 活動により、湖岸、道路などの公共スペースの一定の区画を、愛情と責任をもって美化 を推進する。



(1) 地域活動

「びわ湖の日」環境美化活動の一環として湖岸および湖周道路等の清掃作業を実施

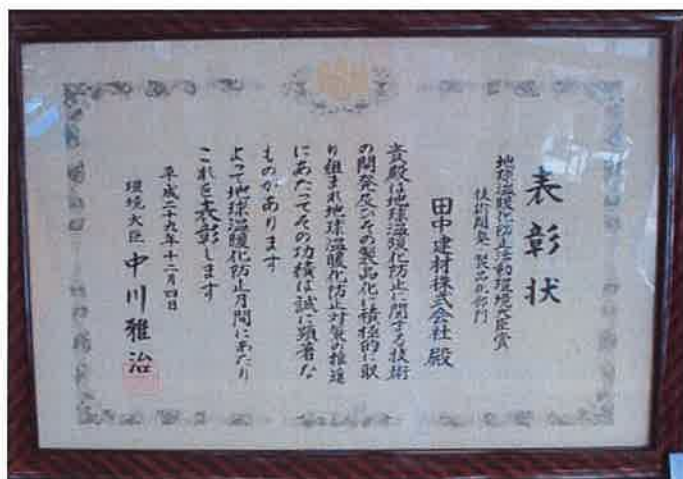


(3)「ハーモニーロードウッド」の製品認定
 当社の開発した木質加熱アスファルト舗装「ハーモニーロードウッド」が、滋賀県において本年度から始まった温室効果ガスである二酸化炭素(CO2)の削減に貢献する製品に認定される「しが発低炭素ブランド」に認定された。



(4)地球温暖化防止活動環境大臣表彰

解体廃木材や間伐材をチップ化した舗装材において、規制記述での基準と同等の評価が得られる木質舗装を開発した。



8-2 社内の環境啓発活動

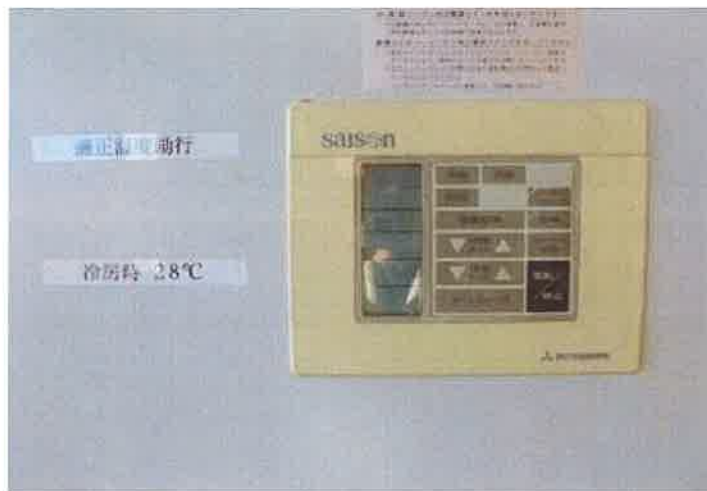
(1) 節電啓発

- ・各部屋が無くなる際は消灯するよう習慣つける。
- ・スイッチ部近くにテプラ等で啓発する。



(2) 空調機節電啓発

- ・各部屋の空調機運転時の温度設定を守るため、温度コントロールの手元に設定温度を表示し、視覚にて節電の喚起をする。（冬季暖房時の室温24℃、夏季冷房時の室温28℃）



(3) コピー用紙の削減啓発

- ・機密情報及び個人情報が入っていないコピーの再利用可能なものは、裏紙BOXへ入れる。
- ・コピー用紙を再利用することで、紙を有効利用する。
- ・必要部数だけを印刷する。



(4) 節水の啓発

- ・事務所及び各控室の水道水の無駄を省き、用水の節約を心がける。



(5) グリーン購入の啓発

- ・事務用品及び作業衣等のエコマーク等の環境ラベルの付いた商品を購入する。



(6) 自動車燃料削減啓発

- ・業務車輛のPHEVの導入及びエコドライブ、アイドリングストップ等、環境にやさしい運転を心がける。



(7) 一般廃棄物分別啓発

・事務所及び各控室より発生する一般廃棄物ごみを分別して捨てる。また排出する場合は、種類ごとに排出する。



(8) 産業廃棄物置場の標識の設置

